

Instagramの利用と承認欲求の関係について

天野由梨 (22011008ya@tama.ac.jp)

研究の背景と目的

研究の背景

2017年5月にオープンしたアイス屋さん「LittleBabyDog's」では、デコレーションされた見た目の可愛いソフトクリームを販売している。このアイスは若い女性を中心に行列を作る人気店となった。しかし、その翌年には、SNSに上げるために、写真だけ撮られて捨てられたとする食べ途中のアイスクリームが大量に捨てられたゴミ箱の写真がTwitterに投稿された。

更に今年10月には、ユニバーサルスタジオジャパンで開催されているハロウィンイベントに際し、パーク内で露出の激しい服装で撮影をしてInstagramに写真をアップした女性たちがネットで炎上騒動を巻き起こした。投稿された写真に写る人々が身にまとっていたのは、実際にランジェリーショップで販売されている「下着」のように見えたことから話題となった。

Instagramでは写真の投稿に対して閲覧者が「いいね」ボタンの機能がある。投稿後に多くの人から「いいね」を貰う目的で現実とはかけ離れた投稿をしたり過度な行動に出たりなど、様々な問題を抱えるようになった。このことから、Instagramはこの問題に対して、2019年7月から、日本、アイルランド、イタリア、オーストラリア、カナダ、ニュージーランド、ブラジルで「いいね」数を非表示にするテスト運用を開始した。しかし2021年12月のアップデートでは選択型で、投稿者が「いいね」機能を非表示にしない限りは投稿の「いいね」を見ることが可能になった。しかしInstagramでは日常の動画や写真を投稿し、24時間以内に見えなくなるといったストーリー機能があり、従来の閲覧者を見ることが出来る機能に加えて、ストーリーに「いいね」をする機能が追加された。これは自分だけが「いいね」数を閲覧できるものである。

研究の目的

Instagramの利用と承認欲求の関係を明らかにする。

2. 先行研究

加納は承認欲求とソーシャルメディア使用傾向の関連性に焦点を当て、山形県内の大学生と専門学生22名に対しアンケート調査を行った結果を報告している。その中で承認欲求の高低とソーシャルメディアの利用頻度に

おいて、承認欲求の高い者はTwitterとInstagramおよびネット検索をよく利用しているということを明らかにしている。

先行研究結果から、Instagram利用と承認欲求の関係について、Instagramの写真投稿やストーリーの投稿に関して、写真の投稿やストーリー機能で動画を上げる頻度の高い人は、自分を見てほしかったり認めてほしかったりするという承認欲求を持つ人が多く、その中でも自分1人が写っている写真もしくは、友達や恋人と共に写る自分の写真が全体の投稿の中で大きい割合を占める人は更に承認欲求が高いのではないかと予測する。

3. 研究方法

参考文献を参考にし、大学生を対象にアンケートを取る。紙アンケートとGoogleフォームの両方で調査をする予定。

4. 今後の課題とスケジュール

2023年2月~4月 情報収集・アンケート作成
2023年5月~ アンケート調査開始
2023年6月~ アンケート調査結果まとめ
分析
2023年~9月 完成(目標)

参考文献

研究論文
「承認欲求とソーシャルメディア使用傾向の関連性」2019 加納寛子
https://doi.org/10.24711/rrie.1.0_18

4. 結論

まとめと今後の課題を書く。

参考文献